

「ウェスターまつり」開催



去る10月12日から14日までの3日間、西部市民サービスセンター全館に於いて第4回ウェスターまつりが開催されました。初日には、オープニングセレモニーが行われ、テープカットの後

開場になりました。各展示会場には様々なサークルの力作や労作が多数展示され、最終日まで大勢の来場者の関心を引いていました。2日目の13日には文化講演会が開催され、新屋出身の今村友紀氏の講演を200人以上の方々が熱心に聴講していました。そして14日は毎年人気を集めている芸能発表会が行われ、20のサークルや団体の出演者が日頃の練習の成果を披露する舞台姿に、会場の大勢の皆さんが盛んに拍手を送っていました。またこの他にも縁日コーナー、喫茶軽食コーナーやチャリティーバザーなどにも大勢の人が詰め掛けて、昨年を上回る盛況を呈した3日間でした。

自主事業について



西部地域住民自治協議会会長 藤澤 浩

当協議会は自主事業として、ウェスターファミリーコンサート、文化講演会、地域間・世代間交流事業を展開しています。ウェスターファミリーコンサートは新屋出身のヴァイオリニスト、佐藤聡子さんとピアニストで作曲家の榊原光裕氏が出演し、毎回皆様から好評を博しています。また文化講演会は年2回開催し、本年1月は新野直吉氏から「森川翁の農魂と昌益の直耕」を、7月には渡辺英夫秋大教授から「秋田藩の境口番所と新屋」と題して講演していただきました。これらは皆様が郷土の歴史の認識を深める良い機会になったものと思っています。そして地域間・世代間交流事業では「おらほの町自慢」として、各地域からの出演者が伝統芸能などを披露、住民相互の交流と親睦を図っています。

今後、これらの事業はさらに内容を充実させて、西部地域の住民の皆様が芸術、文化に対する関心と理解を、より一層深める一助になるよう努める所存であります。



3F 作品展示会場



2F 作品展示会場



チャリティーバザー



縁日コーナー／ヨーヨー釣り



新屋老人クラブ作品展示



生涯学習相談コーナー



縁日コーナー／金魚すくい



西部きりえ会・和紙ちぎり絵サークル

ウェスターまつり文化講演会 10月13日

演題「文学を生み出す土地の力」
講師/今村 友紀氏



10月13日(土)は新屋出身の作家、今村友紀氏の文化講演会が多目的ホールにおいて開催されました。213人の来場者を前に「文学を生み出す土地の力」と題して講演し、古里新屋の魅力について語り、今後秋田にまつわる作品を書きたいと話していました。また質疑応答の時間では、第48回文藝賞受賞作品「クリスタル・ヴァリーに降りそそぐ灰」についての質問に分かりやすく答えていました。

〈プロフィール〉

秋田市出身 作家
1986年4月生まれ
東京大学入学
現在、同大学大学院
人文社会系研究科に在籍



勝平地区婦人会民謡教室



フォークダンス若草



桜雅会

ウェスターまつり芸能発表会 10月14日



やさしいストレッチダンベル体操



ヨガ・ストレッチ・練功体操



希洲会



フラ・ロケラニサークル



四季を歌う会

ウェスターまつり芸能発表会

14日は600人以上の観衆のもと、20のサークルや団体の芸能が発表されました。日頃の練習の成果を十分に発揮した踊りや歌などに、会場からは盛んな拍手が鳴り響いていました。

当日発表された50にも及ぶプログラムに、来場された方々はたっぷり楽しまれた1日でした。

第3回地域間・世代間交流事業

「おらほの町自慢」



平成24年11月11日（日）午後1時30分から、西部地域住民自治協議会主催の地域間・世代間交流事業「おらほの町自慢」がウェスター多目的ホールに於いて開催されました。

今回で3回目を迎えたこのイベントには各地域からの出演者が、伝統芸能や踊り、歌など披露して満席の会場を魅了し拍手喝采を浴びていました。



大賑わいの会場風景



豊岩地区／田植え歌



浜田地区／浜田音頭



新屋地区／浅野梅若社中



勝平地区／太極拳



下浜地区／下浜太鼓

第3回地域間・世代間交流事業「おらほの町自慢」を開催して

西部地域住民自治協議会副会長 戸井田 錬太郎

新屋、新屋勝平、浜田、豊岩、下浜地区の住民相互の交流と親睦を図ることを目的に開催している地域間・世代間交流事業も3回目を迎えた今年は「おらほの町自慢」と銘打って、各地域で古くからの伝統芸能や今後伝え継がれるであろう芸能を出し合いました。

浜田地区からは、「浜田音頭・日本舞踊・手品」を、勝平地区からは「勝平音頭・赤いくつコーラス・太極拳」を、下浜地区からは「はねかわ保育所園児の剣ばやし・下浜太鼓」を、豊岩地区からは「田植え歌・豊岩円満音頭」を、新屋地区からは浅野梅若社中による「秋田民謡」が披露されました。

当日は天候にも恵まれ会場一杯の観衆（応援者、スタッフ含む）からの大声援にも後押しされて、出演者は日頃の成果を十分に発揮されたと思っております。

今後、各地域で伝統芸能を若い世代にどう受け継いでいくかが課題であります。出演者の皆さん、会場に足を運んでくださいました皆さんありがとうございました。

活動サークル訪問シリーズ

vol.17 西部短歌会



代表 木村 三郎

西部短歌会は昭和56年に発足しました。諸先生、諸先輩の築いた歴史を大切に、これからも結束を強くし益々の発展を目指し、切磋琢磨して参ります。会の特徴は手弁当持参で和気あいあいの中、楽しみながら作歌に励んでいます。また諸先輩の丁寧なアドバイスを受け、作品のレベルアップに努めています。

日頃の努力のせいか、NHK主催の全国短歌会に出詠し入賞を果している会員もおります。ウェスターまつりが近づくと、皆様に立派な作品をご覧いただくため仕上げに一段と力が入ります。

当会は毎月1回第2金曜日午前10時よりウェスターで歌会を開いております。年1回景勝地に会場を移し、吟行歌会も行っています。

ただ今、会員を募集しています。短歌を学んでみたい方、関心のある方の入会をお待ちしています。

vol.18 やまばと（ゴムバレーボール）



代表 池田 牧子

「やまばと」は発足40年になる、現在会員数11名で活動している乙女心？を忘れない元気な女性の8人制ゴムバレーボールサークルです。最近では会員不足のため、4人制のソフトバレーボールも楽しんでいます。

40代から60代の会員は美容と健康、そして老化防止のためにと、大きな声を出し和気あいあい珍プレー、好プレー、笑プレーの連続でコートを駆回っています。ストレスなんか吹き飛び、どこへやら…。

練習後のミーティングでは、ランチをしながらバレーボール談義は勿論、政治経済から可愛い孫の話題などで時の経つのも忘れる程に盛り上がる明るく楽しいサークルです。

現在一番の悩みは会員不足です。活動日は毎週火曜日10時から12時ですので気軽に遊びにいらして下さい。見学、体験大歓迎です。

西部地域のカメラ散歩

史跡探訪シリーズ vol.7

◆愛宕町地藏堂

（所在地：秋田市新屋表町14番地内）



「上の坂」の上り口付近の愛宕町地藏堂には、鎌倉時代の名工の作と伝承されている石像地藏尊がある。汗かき地藏としても知られ、火災や疫病が起こるとき、その石仏体から汗を流してお告げをするという伝説がある。ふっくらした姿と柔和な仏顔は見る人を癒してくれるものがある。また地藏堂にはこの他にも

古い歴史をもつ石像や木像、仏画など多数安置されていて、今も地域住民から厚く祀られている。なお、この地藏堂は町内の集会所としても利用されている。

◆緑町・笹町地藏堂

（所在地：秋田市新屋栗田町1-4）

緑町・笹町地藏堂は栗田神社の下側、緑町の小高い一角にある。地藏堂の由来や建造年代は全く不明であるが、堂内にある小さな鐘には天保14年の銘が刻まれている。ところで、この地藏堂の地藏さんには不思議な話が言い伝えられている。昔、この地藏さんの首を雄物川に捨てた塩売りがある日渡し舟に乗った時、首を捨てたあたりでいつの間にか消えていたという。その後首は心ある人々の手によって造り直された、という話である…。なお、毎年7月23日には講の会の人たちがお参りして地藏さんを厚く敬っている。この地藏堂も現在緑町の集会所として利用されている。



WESTER お知らせコーナー

◎文化講演会のご案内

■演題 / 「百三段（毛々左田）新屋の歴史的地位」

■講師 / 新野 直吉氏

（県立博物館名誉館長・秋田大学名誉教授）

■日時 / 平成25年1月19日(土) 13時30分から

■会場 / ウェスター3階洋室

◎西部市民サービスセンター休館のご案内

平成24年12月29日(土)から平成25年1月3日(木)まで年末年始休暇のため全館休館となります。